鶴見川洪水ハザードマップ（浸水想定区域）

洪水浸水想定区域とは、河川が氾濫した場合に、浸水が想定される範囲や深さを示したもので、ここでは河川ごとの浸水想定範囲と浸水深を重ね合わせて表示しています。

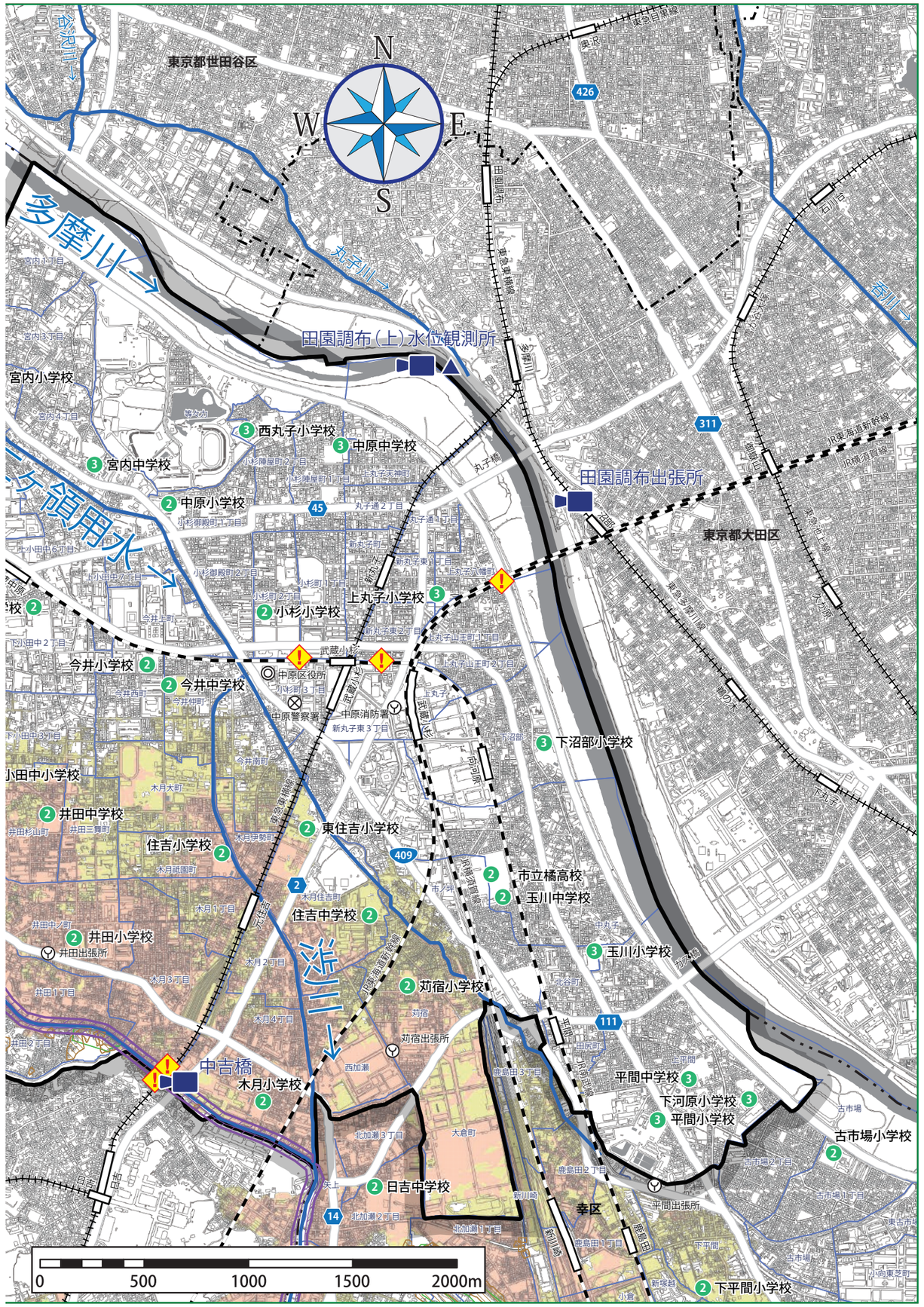
【想定雨量】
○鶴見川水系
矢上川・有馬川：792mm　[2 日間]

※1　各河川の規模により 2 日間雨量あるいは 24 時間雨量で浸水解析を実施しています。
※2　総合治水対策の対象河川である鶴見川水系は、上流の支川も含めて同一の降雨量で国土交通省が浸水解析を実施しています。
※3　隣接都市の浸水域は各自治体のハザードマップなどを確認して下さい。

凡　例

②	避難所（○内の数字以上の階が使用可能）
▲	水位計
■	カメラ画像
◎	市役所、区役所、支所、出張所
Ⓨ	消防署・出張所
⊗	警察署
	家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流） 河川の氾濫が発生した場合に、標準的な木造家屋の流失・倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです。
	家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食） 河岸が侵食された場合に、家屋の流失・倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです。
	土砂災害警戒区域（平成30年1月時点） 土砂災害防止法に基づき県が指定した区域であり、土砂災害への注意が必要な区域です。
	急傾斜地崩壊危険区域（平成30年1月時点） 人家などに危害が生じるおそれがある区域で、急傾斜地法に基づき神奈川県が指定した区域です。
⚠	アンダーパス・地下通路 立体交差で掘り下げ式になっている道路および地下通路のことです。
━・・━	市　境
━・━	区　境

浸水深の目安



●この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平29情使、第1102号）　●川崎市の承認を得て同市発行の都市計画基本図を複製したものです。承認番号（川崎市指令ま計第129号）

各種防災マップ